

第 10 回那須塩原市下水道審議会 議事録

日 時：平成 28 年 2 月 8 日（月） 13：30～14：20

場 所：那須塩原市役所 黒磯庁舎 303 会議室

出席者：

委員

太田会長、安宅副会長、井上委員、渋井委員、佐藤委員、仙波委員、
野田委員、星野委員、吉田委員、目黒委員、小出委員、坂内委員、本澤委員
欠席者 1 名

市

八木澤上下水道部長、邊見下水道課長、室井下水道課長補佐兼施設係長、道音普及係長、
伊藤管理係長、武藤下水道建設係長、菊地主事、平山主事
コンサルタント(日本水工設計株式会社)
武井弘

事務局(邊見)	<p>みなさん、こんにちは。</p> <p>委員のみなさまにおかれましては、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また平成 26 年 2 月の第 1 回審議会から約 2 年間にかけて、慎重なご審議をいただいております。本日、答申を迎えることができることを改めて御礼申し上げます。定刻となりましたので、ただいまより第 10 回那須塩原市下水道審議会を開催させていただきます。本日の進行を務めます下水道課長の邊見と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の会議では、若色委員から欠席の連絡をいただいております。下水道審議会規則第 6 条第 3 項により過半数のご出席をいただいておりますので、会議は成立とさせていただきます。それから今回もコンサルタントを同席させていただきます。あらかじめご了承くださいと思います。</p> <p>それでは、次第に基づきまして進行させていただきます。はじめに太田会長からご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしく願いいたします。</p>
太田会長	<p>みなさん、こんにちは。</p> <p>さきほど、ご案内がありましたように私たちの審議会は 2 年間に渡り真摯に議論してきましたが、本日が最終回ということになります。答申書という形で審議会としての成果を市長にお渡しすることとなりました。2 年間本当にありがとうございました。</p> <p>日頃からみなさまに申しあげていることですが、水道、下水道というのは、市民生活の最も基本となる都市のインフラストラクチャーでございます。人がいるかぎり水というものは必要不可欠な資源であり、ただ、それは水がそのままあるわけではなく、当然飲むことができ、そして利用した後に処理されていくという、都市としての機能が備わってこそ初めて資源の有効活用ができるものとなります。我々の生活や産業の基盤となることができるわけでございます。</p>

	<p>そうした意味では、こうした事業に対してみなさま自身がオーナーとしての意識を持って、しっかりと議論いただいた結果が答申書であると考えておりますので、ぜひ、答申書を市長にお渡しさせていただいたうえは審議結果を受け継いでもらい、実現していただきたいと思います。</p> <p>最後まで、どうぞ引き続きよろしくお願いいいたします。</p>
事務局(邊見)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきたいと思います。ここからの進行については太田会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいいたします。</p>
太田会長	<p>それでは、さっそくですが会議次第に基づきまして議事に入らせていただきたいと思います。まず最初にこれまでの審議の結果を答申書という形でまとめていただきましたので、これについて事務局からご説明をいただきたいと思います。</p>
事務局(室井)	<p>それでは、答申について説明させていただきます。</p> <p>答申は本日平成28年2月8日付け、太田会長名で君島市長に答申いたします。「1. 今後の下水道財政の見通しについて」ですが、現在の本市下水道財政は、本来使用料収入で賄うべき経費のうち、9割程度を使用料収入で賄い、不足分は一般会計からの繰入金で補填している状況であります。</p> <p>(2)の使用料水準について、下水道財政の見通しの結果から、経費回収率の向上及び、基準外繰入金の解消を目的に使用料の改定を行い、下水道経営の健全化に資する必要があります。今回改定する使用料水準については、汚水処理費全額を使用料収入で賄う経費回収率100%に設定するべきとしました。</p> <p>つづきまして、「2. 使用料体系について」ですが、現在の使用料体系は合併以前からの3地区それぞれの使用料体系であり、利用者間の負担が異なる状況であることから、前回の審議会においても使用料体系の統一が答申されております。</p> <p>統一を行う中で塩原地区は他の2つの地区と異なる逆累進制を採用しているため、多量排水者に大きな負担増が生じることも予想され、使用料体系統一の大きな課題でありました。</p> <p>(2)の使用料改定について、今回の審議会に取りまとめた使用料改定案は6ページの表にあります。使用料改定案(税別)とありまして、基本使用料がひと月に1,247円となっております。従量使用料は1m³につき10m³までが10円、10m³を超え20m³までが105円、20m³を超え30m³までが113円、30m³を超え50m³までが121円、50m³を超え100m³までが132円、100m³を超えるものは141円となります。</p> <p>使用料の改定にあたっては、次の事項に留意し答申後、速やかに改定することに努められたいということで、利用者間の公平を図るために3地区の使用料体系を統一し、単一使用料体系で累進制を採用します。基本水量については、</p>

<p>会長</p>	<p>水道事業と同様に廃止。従量使用料に対象水量区分 1 m³から 10 m³を追加し、1 m³あたり 10 円としました。</p> <p>基本使用料への固定費配分割合を高め、多量排水者の動向に左右されない使用料改定案を設定しました。これにより基本使用料は引き上げとなるため、新たに従量使用料の水量区分を追加しています。</p> <p>加えて、「3.留意事項等」ですが、(1)段階的な軽減措置についてということで、使用料改定に伴い負担が増加するまで、すべての使用者に対し段階的な軽減措置を 3 年間実施する。今後の下水道経営の健全化については、アセットマネジメント等を取り入れ、効率的かつ効果的な事業運営に努めるとともに、速やかに公営企業会計の導入を進め、財政マネジメントの強化を図ることが望ましい。多量排出者からの使用料収入に過度に依存することのない体系を構築する必要がありますとあります。</p> <p>10 ページから 13 ページについては付属資料として添付してあります。簡単ですが以上となります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>全体の概要について説明をいただきました。最後にご意見、ご感想などあれば承りたいと思います。</p>
<p>委員一同</p>	<p>《特になし》</p>
<p>会長</p>	<p>前回、全員から確認をいただいておりますので、改めての確認は不要だと思います。それでは質疑応答を含め、答申書については以上とさせていただきます。</p>
<p>事務局(邊見)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事の 3 ですが、わたくしどもからは特にありませんので、委員様方から何かあればいただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、2 年間に渡る長期のご審議にご参加いただきましたので、委員各位におかれても、それぞれの思いをお持ちになっていると思います。最後の機会ですので、どうぞ忌憚のないご感想なり、ご印象などをいただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>下水道に関しては素人で何もわからない状況で参加する形となりました。計 10 回の審議会にみなさまとともに参加させていただきまして大変勉強になりました。一滴の水が下水となって流れていき、それが処理されるまで様々な過程がある。そういったことを知り、水の使用に対する意識が高まったのかなと思います。ありがとうございました。</p>

委員	<p>みなさま、こんにちは。</p> <p>塩原は黒磯、西那須野と違い逆累進制ということで、使えば使うほど安くなる。それが今回の改定で累進制に統一されることになると、一番影響のある塩原地区の旅館などは大変になると思います。使用料の統一については反対しても意味はありませんが、正直申し上げますと、何とも頭の痛い思いであります。2年間ありがとうございました。</p>
委員	<p>合併してから10年が経ち、黒磯、西那須野、塩原すべて同じ使用料で統一しなくてはならないという考えが、私はおかしいのではないかと考えておりました。ですが、いろいろと話を聞き、市の財源を持ち出して下水道の処理をしているということで、それで赤字では困るなど考えが変わりました。</p> <p>合併から10年経って初めて一つの体系となるわけですが、ただ心配なのは塩原地区があまりにも使用料が上がり、本当に大丈夫なのかなと考えております。</p> <p>今後、どうやってこの下水道の処理を合理化していくのか、また経費削減をしていくのかということも大事なのではないかと考えております。2年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>塩原地区が以前とは全く変わった使用料体系となることを心配しておりますが、合併したのだからどこの地区も同じ使用料体系で徴収していくべきだと言われれば、なかなか反対することも難しい。ただ思いだけは伝えなければと参加させていただきました。2年間ありがとうございました。</p>
委員	<p>2年間あっという間に過ぎていきましたが、みなさまお疲れ様でした。塩原地区の事情がありましたので、まとめることができるのか心配しておりましたが、様々な立場の委員からの前向きなご意見をいただいたことが、最終的な統一につながったのではないかと思います。</p> <p>それに伴って軽減措置というものが盛り込まれましたので、合併して10年という節目で一つの形ができたことを私自身うれしく思っております。色々とお勉強させていただきました。2年間ありがとうございました。</p>
委員	<p>2年間ありがとうございました。塩原地区の方の気持ちもわかりますが、板室地区でも旅館の数は減っております。同じ業種ですので、なるべく早く同じ使用料体系を適用するということを念頭にして、審議会に参加させていただきました。合併からちょうど10年を経て統一となりますので、気持ちがほっとしております。</p>
委員	<p>2年間ありがとうございました。ただ聞くことで一杯いっぱいでしたが、知らなかった那須塩原市のことをずいぶん知り、学ぶことも多かったです。大切な下水道のことですので、今後も意識を向けていきたいと思っております。</p>

委員	<p>私は以前、下水道を管理する立場の人間でした。今回使用料に関することもそうですが、いろいろな下水道に関するお金の話を聞くうちに、みなさまに下水道を正しく使ってもらえればと思いました。</p> <p>そう言いますのもトイレトペーパーは処理場につく間にばらばらになり、水と同じようになってしまいますが、ティッシュペーパーは処理場へ着いても形が残ってしまいます。それはつまり、みなさまの使い方によっては処理場でのコストが安くなるということです。使用料体系が統一されても、下水道使用者の使い方によって管理費が異なってしまうと、使用料体系を統一した意味も揺らいでしまうかもしれません。</p> <p>そういったことも意識しながら、下水道を使用していただければと思います。長い間ありがとうございました。</p>
委員	<p>みなさま、やはり身近なものということで、お金の問題に意識が集中していたと思いますが、実は私は箒川に生息しているカジカの富栄養化の問題も懸念しておりました。いま箒川のカジカも正常に戻ってきておりますが、そういう観点から下水道の整備はとても大切であると感じていましたので、関わることでできたことを非常に良かったと感じております。</p> <p>3年という軽減措置がある中でも、塩原地区の方は大変だと思いますが、やはり将来に禍根を残さない。子供たちにツケを先送りにしないという考えからも今回の審議結果は良いものであったと思っております。</p> <p>みんなががんばった価値を共有したい。また、これから手続きをする行政のみなさまは大変だと思いますが、どうぞよろしく願います。</p>
委員	<p>2年間、計10回に渡る審議に参加させていただき、大変勉強になりました。ありがとうございます。特に塩原地区の方は今後大変だと思いますが、一般財源からお金が出ているという、下水道を使えない地域の方からも負担いただいているという状況を考えますと、今回の答申は良い方向に持っていけたのではないかと思います。また塩原地区の方々にはそのあたりの状況もご理解いただければと思いました。お世話になりました。</p>
委員	<p>下水道のことをよくわからない中で、計10回の審議に参加させていただきましたが、知らないところでいろいろなことが行われているのだと実感しました。市役所の方々も細かいところまで気を配っているとわかりましたし、こういった会議の段取りにしても多くの人の力があって成り立っているのだと気が付くことができました。</p> <p>また、いろいろな立場の方の意見を聞くことができたということも、私自身にとって大変ためになりました。これからも下水道のことを見守っていきたいと思います。ありがとうございました。</p>

委員	<p>みなさま、長い間お世話になりました。水道をひねればきれいな水が使い、トイレなども流せばさらっと水が引いてくれる。そういった当たり前のことが実は大変なお金、労力がかかっているということがよくわかりました。そういった幸せが子供の代にも続くように願っております。そのためには値上げもやむなし、そう思っております。</p> <p>もし、これから機会等があれば、さきほど他の委員さまからお話があったティッシュの話なども子供たちに伝えることができたらいいのではないかと思います。本当にありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>みなさまからのご感想、ご印象を受けて事務局から何かコメント等があればお願いできますでしょうか。</p>
事務局(邊見)	<p>下水道課長の邊見と申します。私は昨年の4月から参加させていただきました。みなさまには計10回に渡りまして、真摯なご審議をいただいた結果ということで、我々としても真摯に受け止めております。</p> <p>様々な立場の委員の方々から頂いた意見などを踏まえて、今後の下水道行政にしっかりと取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、次に進みたいと思います。事務局お願いいたします。</p>
事務局(邊見)	<p>それでは、事務局から旅費等についてのご説明をさせていただきます。</p>
事務局(伊藤)	<p>みなさまのお手元に請求書があると思います。そちらに押印していただくことになるのですが、前回もご説明したとおり30円/1kmという計算になっておりまして、今年度分を交通費としてお支払いするものです。請求書に押印をいただいてから事務局で回収したいと思います。</p> <p>加えてもう一点ですが、今回の答申書作成にあたりまして、付属資料として第1回からの会議資料と議事録、ホームページのコピー、審議会で使用した新聞記事のコピーなどを含めた冊子を作成する予定となっております。ページ数は大体380ページのものですが、こちらをみなさまのお手元に配布いたします。それに伴って、配布媒体について紙ベースかCD-Rのどちらかを選択していただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局(邊見)	<p>それでは、答申の提出に入りたいと思います。</p> <p>《市長入室》</p>

会長	<p>答申書、平成 28 年 2 月 8 日那須塩原市下水道審議会、那須塩原市長君島寛様、那須塩原市下水道審議会会長太田正、答申平成 26 年 2 月 17 日付け、那塩下第 156 号で諮問された下水道使用料の統一、改定について、別紙のとおり答申いたします。よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p>
事務局(邊見)	<p>ここで、市長と委員のみなさまで写真撮影を行いたいと思います。</p> <p>《写真撮影》</p>
市長	<p>あらためまして、こんにちは。</p> <p>1 月の 22 日付けで那須塩原市市長に就任いたしました君島寛でございます。よろしく願い申し上げます。本日は大変お忙しい中、第 10 回那須塩原市下水道審議会を開いていただきまして誠にありがとうございます。下水道審議会につきましては、平成 26 年 2 月に下水道使用料の統一、改定について諮問させていただいたところでございます。</p> <p>計 10 回に及ぶ審議会を開催され、また慎重なご審議を賜りまして、本日ここに答申をいただくことができました。大変ありがとうございました。また、太田会長様をはじめ、審議委員のみなさま方のご尽力に対して厚く御礼を申し述べさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>ご存じのとおり那須塩原市は昨年で合併 10 年を迎えたところでございます。下水道使用料につきましては、合併前の使用料体系のまま現在に至っております。同じ市民でありながら使用者間で負担が異なる状況が長く続いていたわけでございます。</p> <p>また、下水道の経営では、本来使用料で賄うべき施設の維持管理費が賄いきれず、一般会計へ依存している状況でありまして、使用料体系の改定と統一が懸案でございました。本日いただきました答申書を踏まえまして、市民のご理解をいただけるよう、今後も下水道事業の健全運営に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>最後になりますが、委員の方々の長期に渡るご協力に対し心から感謝をいたしまして、簡単ではございますがお礼のあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
事務局(邊見)	<p>ありがとうございました。</p> <p>市長はこのあと公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p>
市長	<p>みなさま、ありがとうございました。失礼いたします。</p> <p>《市長退室》</p>

事務局(邊見)	<p>上下水道部長の八木澤からご挨拶申し上げたいと思います。</p>
事務局(八木澤)	<p>上下水道部長の八木澤です。この度は、下水道審議会の答申をいただきまして、誠にありがとうございます。現在の下水道事業におきましては、生活排水の適切な処理を更に推進していくために、本市の生活排水処理区基本構想を見直しております。この3月の議会に提案をしまして、議決をいただく予定です。</p> <p>この構想は平成28年度からの10年間で、中期整備目標というものがございまして、現在の人口普及率である73%を90%近くまで高めていきたいという構想でございます。そのため、これから更に建設費用などの投資が増えていきます。そういった中で、これからも健全な事業運営を継続していく上で、今回答申で示された使用料の改定案を踏まえまして、対応していきたいと思っております。</p> <p>最後に太田会長をはじめ、委員のみなさまにはこれまで2年間に渡りご審議をいただき、誠にありがとうございます。みなさまの今後のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、御礼とさせていただきます。</p>
事務局(邊見)	<p>ありがとうございました。それでは最後に太田会長からご挨拶をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>とうとうこの日が来たなと実感がわいてきておりますが、2年間長いようで短かった印象を持っております。それだけ非常に闊達で、実のあるご審議をいただいたのだと思います。さきほどもご感想の中で何人かの方から、非常に印象に残るご感想をいただきました。特にありがたかったのは、カジカが戻ってきたというようなご報告をいただいたことで、下水道が本来果たすべき役割とはこういうものなんだなという気持ちが強くいたしました。</p> <p>いわゆる我々の日常生活の利便性を高めてくれるのも下水道ですけれども、更に言えば、水の循環といった観点からは、使った後、どうやってそれを適切に処理して自然に還していくのか、そういった役割を果たすのも下水道でございます。こうした最終的なところでの成果、効果が見られるというのは、下水道に関わる者としても、この地域の自然を保全していく上でも重要な視点ではないかと改めて思ったところでございます。</p> <p>併せて、こうした重要な役割を果たす下水道ですが、当たり前化してしまっています。さきほども少しご指摘があったように、蛇口をひねればいつでも飲める水が出てくる。コックをひねれば水が流れていく。当たり前すぎてしまうと、もしそれが途絶えてしまったとき、どういうことが起こるのかといった想像力が働きにくくなっている。そういうことが現実としてあると思っております。</p> <p>しかし、これは我々も5年前、実際に大きな被害を経験しております。また、極めて深刻な被害を東北地域は受けており、そこからの復興もままならない状況を迎えている現実もございます。そういう中でやはり水というもの。これは飲み水もそうですが、トイレが使えるかどうかということも大変重要な問題に</p>

<p>事務局(邊見)</p>	<p>なってきました。そういう水のありがたさに、その時になって初めて気付くのでは遅すぎるんですね。そういう点ではこうした大切な事業なり、資産なりを後の世代にどうつないでいくのか、これは今を生きる我々の役割であり、使命だと思います。</p> <p>今回、重要な論点として何に重きを置くのか、ご審議いただいたときに確認させていただいたのは、経営の安定化でございます。いったん使用料を改定して、またすぐに改定しなくてはいけない。常に経営が不安定な状態が継続するということがないよう、持続可能な形で後世に伝えていくことができるようにしていく。その財政基盤をどう確立していくのかということが大きなテーマでございます。</p> <p>今後は人口減少といったことが避けられませんので、そういう中であっても引き続き、地域の暮らしの基礎となる上下水道をどうやって後世へ伝えていけるのか、その要になる経営基盤というものをどう確立していけるのか、ということが最大のテーマであっただろうと思います。</p> <p>固定費の一定割合を基本料金に反映させることによって、従来のような多量使用者だけに負担を集中させて、依存することで経営の安定化を図るのではなく、市民全員が負担を分かち合う中で、自分たちの資産を守り続けていく。このようなオーナー意識を持っていただくことが、ひとつの発想の転換につながっていくような改定を目指せたのではないかと思います。そういった観点からの使用料改定は日本全国、下水道の世界でみるとまだほとんどありません。別な言い方をすると全国の先鞭を切った改定案だと言えるかもしれません。我々の2年間の審議の成果というのは、そうした意味でも全国の先駆けをつくることにつながるものであったと思います。</p> <p>そのような大きな成果を踏まえた上で、せっかくご審議いただいてまとまった答申書でございますので、さきほど市長様も決意を示されましたが、答申書の着実な実現、速やかな実施を期待して挨拶と代えさせていただきたいと思えます。本当にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第10回那須塩原市下水道審議会を閉じさせていただきたいと思えます。委員のみなさまには長期間に渡りましてご審議いただきありがとうございました。</p>
----------------	---